

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	長野県	市町村類型	- 0	指定団体等の指定状況				区分		平成22年度(千円)	平成21年度(千円)	区分		平成22年度(千円・%)	平成21年度(千円・%)		
				財政健全化等	x	財源超過	x	首都	x	近畿	x	歳入総額	1,239,758	1,459,760	実質収支比率	5.5	5.6
市町村名	売木村	地方交付税種地	2-1	歳入総額	1,173,534	歳出総額	1,388,902	歳入歳出差引	70,858	経常収支比率	72.9	71.5	(1)	(76.7)			
人口	22年国調(人)	656	産業構造	22年度に繰越すべき財源	25,687 <th>中部</th> <td>40,537 <th>実質収支</th> <td>-825 <th>標準財政規模</th> <td>732,301 <td>733,085 <th>財政力指数</th> <td>0.11 <td>0.12 </td></td></td></td></td></td>	中部	40,537 <th>実質収支</th> <td>-825 <th>標準財政規模</th> <td>732,301 <td>733,085 <th>財政力指数</th> <td>0.11 <td>0.12 </td></td></td></td></td>	実質収支	-825 <th>標準財政規模</th> <td>732,301 <td>733,085 <th>財政力指数</th> <td>0.11 <td>0.12 </td></td></td></td>	標準財政規模	732,301 <td>733,085 <th>財政力指数</th> <td>0.11 <td>0.12 </td></td></td>	733,085 <th>財政力指数</th> <td>0.11 <td>0.12 </td></td>	財政力指数	0.11 <td>0.12 </td>	0.12		
	17年国調(人)	735		近畿	41,362 <th>単年度収支</th> <td>-3,601 <th>公債費負担比率</th> <td>13.6</td> <td>14.8 </td></td>	単年度収支	-3,601 <th>公債費負担比率</th> <td>13.6</td> <td>14.8 </td>	公債費負担比率	13.6	14.8							
住民基本台帳人口	23.03.31(人)	606	区分	歳入歳出超過	48,343 <th>歳上償還金</th> <td>1,570 <th>健全化判断比率</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td> </td>	歳上償還金	1,570 <th>健全化判断比率</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	健全化判断比率	-	-	-	-	実質赤字比率	-	-		
	22.03.31(人)	619		17年国調	88,543 <th>繰上償還金</th> <td>-</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>実質公債費比率</th> <td>15.7</td> <td>17.4</td>	繰上償還金	-	連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	実質公債費比率	15.7	17.4	
面積(km ²)	23.03.31(人)	619	第1次	低開発	-	積立金取崩し額	-	将来負担比率	14.6	14.6	14.6	14.6	資金不足比率(3)	-	-		
	増減率(%)	-2.1		12年国調	-	実質単年度収支	87,718	標準財政収入額	71,785	73,922	73,922	73,922	73,922	73,922	73,922	73,922	
人口密度(人/km ²)	増減率(%)	-2.1	第2次	指数表選定	-	基準財政収入額	654,295	基準財政需要額	663,651	標準税収入額等	89,552	92,242	経常経費充当一般財源等	518,041	548,266		
	世帯数(世帯)	288		17年国調	45.8	51.4 <th>歳入一般財源等</th> <td>1,034,643</td> <td>1,097,780</td>	歳入一般財源等	1,034,643	1,097,780								
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	1,040,064	1,120,559	うち公的資金	864,829	920,456			
	市区町村長	1	4,950		一般職員	14	38,668	2,762	債務負担行為額(支出予定額)	17,660	21,072	収益事業収入	-	-			
	副市区町村長	1	4,540		うち消防職員	-	-	-	土地開発基金現在高	47,333	47,283	積立金	239,097	150,554			
	収入役	-	-		うち技能労務職員	-	-	-	臨時職員	-	-	減債基金	168,987	138,326			
	教育長	1	4,230		教育公務員	-	-	-	現在高	264,208	244,454	その他特定目的基金	-	-			
	議会議長	1	1,711		合計	14	38,668	2,762									
	議会副議長	1	1,190		ラスバイレス指数	-	-	-									
	議会議員	6	1,000														
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧				(2)		
	項番	会計名	項番		会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名				
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計(国民健康保険事業)	(8)	簡易水道特別会計	(10)	南信州広域連合	(11)	(一般会計)	(27)	長野県地方税滞納整理機構						
		(3)	国民健康保険特別会計(診療施設事業)	(9)	下水道事業特別会計	(11)	(広域振興基金特別会計)	(12)	(飯田広域消防特別会計)								
		(4)	介護保険特別会計(保険事業勘定)			(12)	(阿南学園特別会計)	(13)	下伊那郡町村公平委員会組合								
		(5)	後期高齢者医療特別会計			(14)	下伊那郡土木技術センター組合	(14)	下伊那自治センター組合								
		(6)	老人保健特別会計			(15)	長野県市町村自治振興組合	(15)	長野県後期高齢者医療広域連合								
		(7)	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)			(16)	長野県市町村総合事務組合	(16)	(一般会計)								
						(17)	(非常勤職員公務員災害補償特別会計)	(17)	南信地域町村交通災害共済事務組合								
						(18)	南信地域町村交通災害共済事務組合	(18)	長野県地方税滞納整理機構								

(注釈)
 1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。
 3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位 千円・%)				地方税の状況(単位 千円・%)					歳出の状況(単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等			
地方税	70,995	5.7	70,995	10.0	普通税	59,169	83.3	4,756	議会費	16,755	1.4	-	16,755			
地方譲与税	13,543	1.1	13,543	1.9	法定普通税	59,169	83.3	4,756	総務費	300,749	25.6	30,606	288,673			
利子割交付金	176	0.0	176	0.0	市町村民税	17,664	24.9	-	民生費	120,553	10.3	563	94,174			
配当割交付金	43	0.0	43	0.0	個人均等割	1,176	1.7	-	衛生費	114,573	9.8	-	94,636			
株式等譲渡所得割交付金	16	0.0	16	0.0	所得割	13,059	18.4	-	労働費	10,391	0.9	-	1,857			
地方消費税交付金	7,368	0.6	7,368	1.0	法人均等割	2,949	4.2	-	農林水産業費	88,883	7.6	23,637	66,585			
ゴルフ場利用税交付金	9,890	0.8	9,890	1.4	法人税割	480	0.7	-	商工費	138,673	11.8	45,265	99,101			
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	38,099	53.7	4,756	土木費	85,623	7.3	76,104	52,290			
自動車取得税交付金	2,997	0.2	2,997	0.4	うち純固定資産税	38,099	53.7	4,756	消防費	78,049	6.7	51,488	51,805			
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	1,759	2.5	-	教育費	74,278	6.3	17,288	60,402			
地方特例交付金	2,242	0.2	2,242	0.3	市町村たばこ税	1,647	2.3	-	災害復旧費	918	0.1	-	918			
児童手当及び子ども手当特例交付金	1,285	0.1	1,285	0.2	鉱産税	-	-	-	公債費	144,089	12.3	-	141,223			
減収補填特例交付金	957	0.1	957	0.1	特別土地保有税	-	-	-	諸支出費	-	-	-	-			
地方交付税	701,945	56.6	586,288	82.5	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-			
普通交付税	586,288	47.3	586,288	82.5	目的税	11,826	16.7	-	歳出合計	1,173,534	100.0	244,951	968,419			
特別交付税	115,657	9.3	-	-	法定目的税	11,826	16.7	-	性質別歳出の状況(単位 千円・%)							
(一般財源計)	809,215	65.3	693,558	97.5	入湯税	11,826	16.7	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率		
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	事業所税	-	-	-	義務的経費計	311,687	26.6	286,453	286,191	40.2		
分担金・負担金	872	0.1	-	-	都市計画税	-	-	-	人件費	143,182	12.2	136,881	136,881	19.3		
使用料	48,604	3.9	-	-	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	67,294	5.7	62,233	-	-		
手数料	3,260	0.3	-	-	法定外目的税	-	-	-	扶助費	24,416	2.1	8,349	8,087	1.1		
国庫支出金	134,539	10.9	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	144,089	12.3	141,223	141,223	19.9		
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	70,995	100.0	4,756	内元利償還金	144,079	12.3	141,213	141,213	19.9		
都道府県支出金	79,349	6.4	-	-	区分	平成22年度	平成21年度		誤一時借入金利息	10	0.0	10	10	0.0		
財産収入	17,603	1.4	16,301	2.3	合計	99.7	98.3	99.5	98.5	その他の経費	615,978	52.5	498,687	231,850	32.6	
寄附金	312	0.0	-	-	徴収率(%)	市町村民税	99.5	99.5	99.7	99.7	物件費	203,369	17.3	133,692	82,989	11.7
繰入金	2,790	0.2	-	-	純固定資産税	99.6	97.2	99.2	97.3	維持補修費	6,704	0.6	3,016	3,016	0.4	
繰越金	70,858	5.7	-	-	公営事業等への繰出				補助費等	99,325	8.5	78,979	58,380	8.2		
諸収入	24,656	2.0	1,177	0.2	合計	159,672	226.1	9,233	うち一部事務組合負担金	35,640	3.0	35,640	32,006	4.5		
地方債	47,700	3.8	-	-	簡易水道	73,772	103.1	7,913	繰出金	159,672	13.6	140,643	87,465	12.3		
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	下水道	28,420	40.6	121	積立金	141,748	12.1	140,617	-	-		
うち臨時財政対策債	-	-	-	-	上水道	-	0.0	194	投資・出資金・貸付金	5,160	0.4	1,740	-	-		
歳入合計	1,239,758	100.0	711,036	100.0	工業用水道	-	0.0	45	前年度繰上充用金	-	-	-	-	-		
					国民健康保険	21,950	31.1	69	投資的経費計	245,869	21.0	183,279	-	-		
					その他	35,530	50.1	308	うち人件費	5,250	0.4	5,250	-	-		
									普通建設事業費	244,951	20.9	182,361	-	-		
									うち補助	14,599	1.2	835	-	-		
									うち単独	230,352	19.6	181,526	-	-		
									災害復旧事業費	918	0.1	918	-	-		
									失業対策事業費	-	-	-	-	-		
									歳出合計	1,173,534	100.0	968,419	-	-		

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	1,240	1,174	66	41	3	1,040	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等	1,240	1,174	66	41	3	1,040	実質赤字額

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	剰余金/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	資金不足比率	備考
1 国民健康保険特別会計(国民健康保険事業)	105	95	9	9	7				
2 国民健康保険特別会計(診療施設事業)	72	69	2	2	21	15			
3 介護保険特別会計(保険事業勘定)	97	91	5	5	16				
4 後期高齢者医療特別会計	7	7	0	0	3				
5 老人保健特別会計	-	-	-	-	-				
6 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	36	34	2	2					
7 簡易水道特別会計	91	91	0	0	74	612	514		法非適用企業
8 下水道事業特別会計	47	47	0	0	28	306	286		法非適用企業
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
83									
84									
85									
86									
87									
88									
89									
90									
91									
92									
93									
94									
95									
96									
97									
98									
99									
100									
101									
102									
103									
104									
105									
106									
107									
108									
109									
110									
111									
112									
113									
114									
115									
116									
117									
118									
119									
120									
121									
122									
123									
124									
125									
126									
127									
128									
129									
130									
131									
132									
133									
134									
135									
136									
137									
138									
139									
140									
141									
142									
143									
144									
145									
146									
147									
148									
149									
150									
151									
152									
153									
154									
155									
156									
157									
158									
159									
160									
161									
162									
163									
164									
165									
166									
167									
168									
169									
170									
171									
172									
173									
174									
175									
176									
177									
178									
179									
180									
181									
182									
183									
184									
185									
186									
187									
188									
189									
190									
191									
192									
193									
194									
195									
196									
197									
198									
199									
200									
201									
202									
203									
204									
205									
206									
207									
208									
209									
210									
211									
212									
213									
214									
215									
216									
217									
218									
219									
220									
221									
222									
223									
224									
225									
226									

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	606	人(H23.3.31現在)	実	赤	字	比	率	-	%
面積	43.55	km ²	業	費	赤	字	比	率	-
入出	1,239,758	千円	結	算	公	債	費	比	率
支	1,173,534	千円	算	公	債	費	比	率	15.7
支	40,537	千円	算	公	債	費	比	率	14.6
支	732,301	千円	算	公	債	費	比	率	14.6
支	1,040,064	千円	算	公	債	費	比	率	14.6

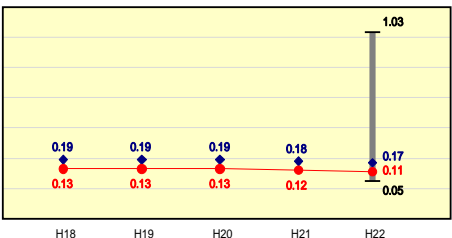


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.11]

類似団体内順位 103/123 全国平均 0.53 長野県平均 0.42

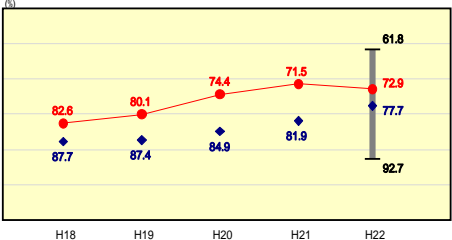


財政力指数の分析欄
・人口の減少や高い高齢化率(平成24年8月末46.8%)に加え、村内に基幹となる産業がないこと等により、財政基盤は弱く類似団体平均を依然として下回っている。今後は、投資的経費を抑制する等、歳入の見直しを図るとともに、基幹産業の育成や税制を見直し財政基盤の強化を図る。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [72.9%]

類似団体内順位 23/123 全国平均 89.2 長野県平均 82.7

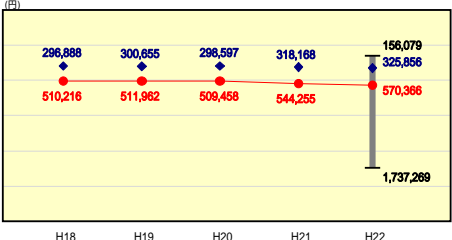


経常収支比率の分析欄
・平成15年度より実施している特別職及び一般職員の給与カットの人件費削減や補助費、公債費の抑制により72.9%と類似団体内平均地を4.8%下回っている。今後も事務事業の見直しを更に進めるとともに、経常経費の削減に努め経常収支比率を低下できるように努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [570,366円]

類似団体内順位 112/123 全国平均 114,985 長野県平均 124,369

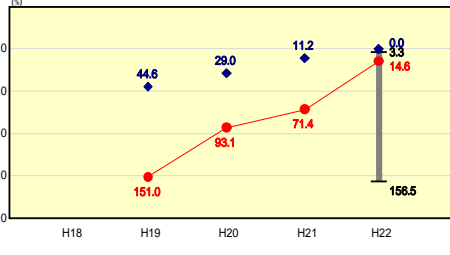


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
・類似団体内平均値と比較して非常に高い数値となっている。この大きな要因として、直営温泉施設に係る維持管理費に占める割合が高くなっている。また、幼児の年齢、発達に応じた保育を実現するために加配保育士の雇用や小学校複式学級解消のため村費支弁教員1名配置に係る経費等が主な要因となっている。温泉施設運営については、維持管理経費の抑制等更に努めていく必要がある。

将来負担の状況

将来負担比率 [14.6%]

類似団体内順位 69/123 全国平均 79.7 長野県平均 40.9

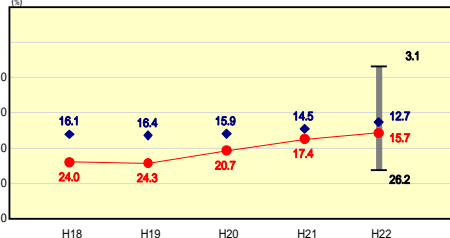


将来負担比率の分析欄
類似団体と比較して上回っている状況である。主な要因として地方債の現在高が10億4千万円、公営企業債等の繰入見込額が8億円と多く、これに見合う充当可能財源が乏しい状況である。しかしながら、年次計画により高利率等不利な起債の繰上償還を実施するとともに財政調整基金、減債基金への積立を積極的に進めることにより昨年より将来負担比率もかなり改善されている。今後も更に公債費等義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め、財政健全化に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [15.7%]

類似団体内順位 92/123 全国平均 10.5 長野県平均 11.8

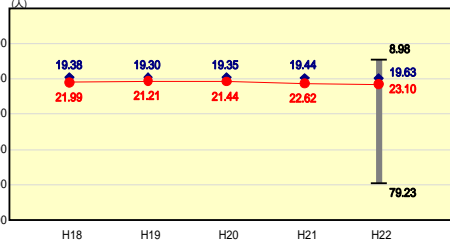


実質公債費比率の分析欄
・22年度決算に基づく実質公債費比率は15.7%と対前年度より1.7%減少したが、類似団体内平均値と比較して依然として高い比率となっている。計画的に不利な起債の繰上償還の実施、過大な起債の抑制を実施してきているが、公営企業債に係る繰入金や普通交付税算入額の減により比率の低下も鈍化傾向になっている。今後は新規発行債を抑制し、実質公債費比率の低下に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [23.10人]

類似団体内順位 78/123 全国平均 7.24 長野県平均 7.86

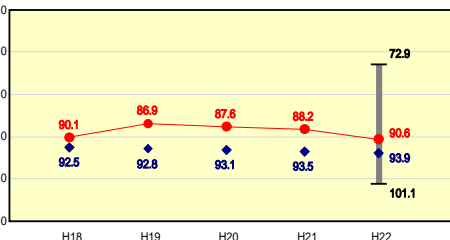


人口千人当たり職員数の分析欄
・22年度の職員数は20人で、集中改革プランにより示している目標値に対し1人増の状況である。今後は時代の要請に適した人員配置と組織のスリム化及び事務の効率化を進めるよう計画的な職員数の抑制に努める。

給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [90.6]

類似団体内順位 20/123 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレス指数の分析欄
・職員の給与とカットの実施により、類似団体の中ではかなり低い水準となっている。級別資格基準表の是正等を行い、財政力の向上を図る上で給与水準の抑制は不可欠であり、今後この指数維持の為給与とカット等実施していく必要がある。

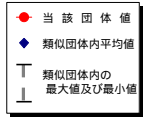
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

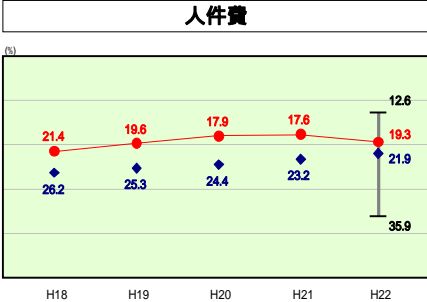
長野県売木村

経常収支比率の分析

人口	606人	(H23.3.31現在)	実	赤	赤	比	事	-	%			
面積	43.55	km ²	通	字	字	事	-	%				
入出	1,239,756	千円	結	公	公	比	15.7	%				
歳入	1,173,534	千円	算	債	債	比	14.6	%				
歳出	40,537	千円	特	来	来	担						
経費	732,301	千円	市	村	類	型	H18	- 0	H19	- 0	H20	- 0
標準財政規模	1,040,064	千円	(年	度	毎)	H21	- 0	H22	- 0	

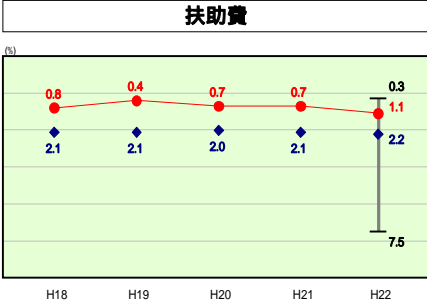


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



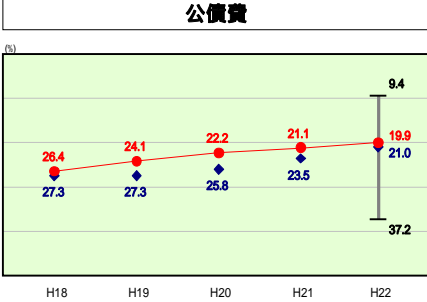
類似団体内順位 26/123 **全国平均** 25.1 **長野県平均** 20.7

人件費の分析欄
 ・人件費は19.3%と類似団体内平均値を2.6%下回っている。要因としては、これまでに退職時の特別昇給廃止、特別勤務手当の廃止、更には特別職給与の削減、一般職員の給与削減を平成15年度より実施し、給与の適正化に努めるとともに総人件費の抑制を図ってきた。今後については、住民の納得と支持が得られる給与体系、運用、水準の適正化が求められているところから、人事院勧告制度を尊重し、国家公務員の給与水準に準拠した給与体系とし適正な運営に努める。



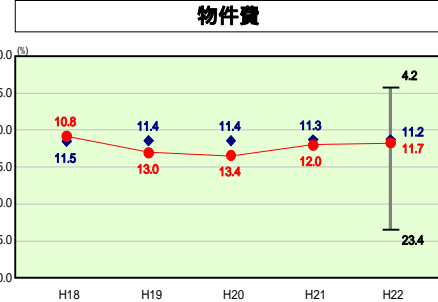
類似団体内順位 14/123 **全国平均** 10.4 **長野県平均** 6.3

扶助費の分析欄
 ・扶助費は類似団体内平均と比較してもかなり低い数値となっている。養護老人ホーム入所者が1名と少ない、福祉医療費の支給が類似団体と比較し少額等が主な要因と思われる。今後も更に比率が上がらないよう予防、啓発が必要と思われる。



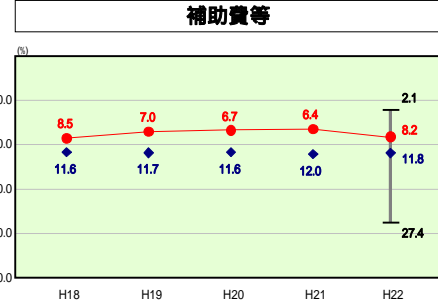
類似団体内順位 49/123 **全国平均** 19.0 **長野県平均** 18.5

公債費の分析欄
 平成15年度までに実施したインフラ整備による公債費が増大していた。根幹資金の繰上償還や財政融資資金においても高利率の起債を任意により繰上償還を実施し、類似団体内平均値を下回っているが、依然として高い数値となっている。今後は必要最低限の起債発行とし、平成25年には人口1人当たりの地方債現在高を300万円以内とする。



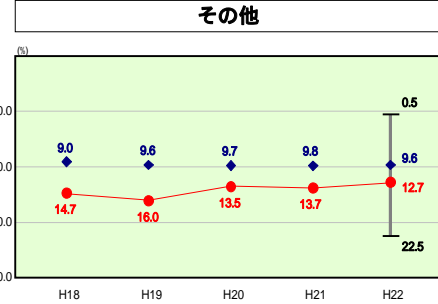
類似団体内順位 68/123 **全国平均** 12.8 **長野県平均** 11.5

物件費の分析欄
 ・類似団体内平均値とほぼ同じ数値となっている。主な要因としては直営温泉施設に係る管理運営費に占める割合が高くなっている。また保育所の加配保育士の雇用、小学校複式学級解消のため村費支弁教員を1名配置に係る経費等が主な要因となっている。温泉施設運営については、維持管理経費の抑制等更に努める。



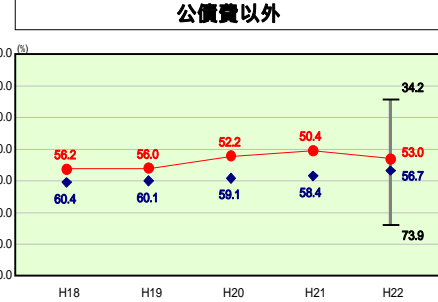
類似団体内順位 30/123 **全国平均** 10.1 **長野県平均** 13.5

補助費等の分析欄
 ・各種団体補助金等の支給見直しを行なった結果、類似団体平均を下回っている現状である。今後も各事業精査等充分検証し更に補助費抑制に努める。



類似団体内順位 97/123 **全国平均** 11.8 **長野県平均** 12.2

その他の分析欄
 ・その他は公債費によるものが大きく、昨年より数値は改善されている。これは、新規発行債の抑制と計画的な繰上償還の実施によるものが大きい。今後もさらに継続する必要がある。



類似団体内順位 32/123 **全国平均** 70.2 **長野県平均** 64.2

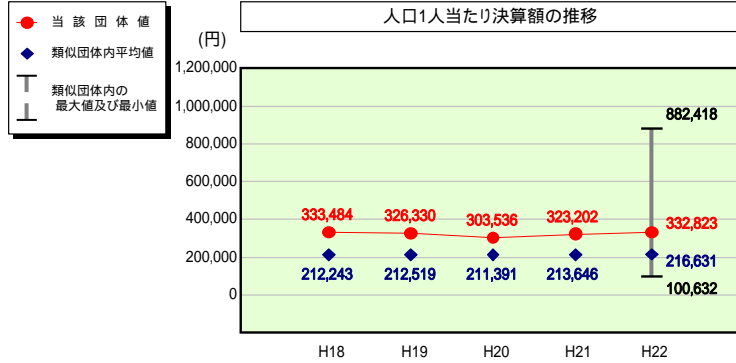
公債費以外の分析欄
 ・公債費以外の分析は類似団体内平均値にほぼ近接している。経常経費抑制の為、更に検証、精査する必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

長野県売木村

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



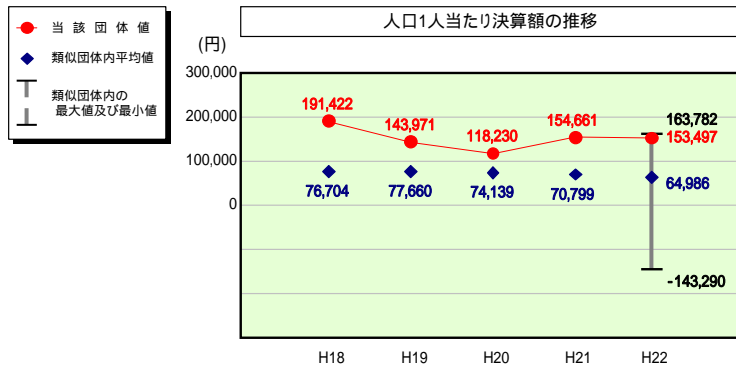
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	143,182	236,274	178,691	32.2
賃金(物件費)	39,494	65,172	15,365	324.2
一部事務組合負担金(補助費等)	14,534	23,983	28,652	16.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	2,205	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	12,094	19,957	8,320	139.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	5,250	8,663	4,849	78.7
退職金	12,863	21,226	21,452	1.1
合計	201,691	332,823	216,631	53.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	23.10	19.63	3.47
ラスパイレス指数	90.6	93.9	3.3

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

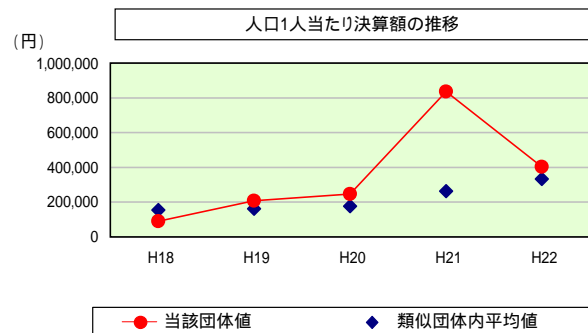


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	144,079	237,754	162,984	45.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	72,609	119,817	31,398	281.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	4,506	7,436	8,889	16.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	3,412	5,630	4,836	16.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	75	-
特定財源の額	2,866	4,729	8,463	44.1
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	128,721	212,411	134,732	57.7
合計	93,019	153,497	64,986	136.2

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

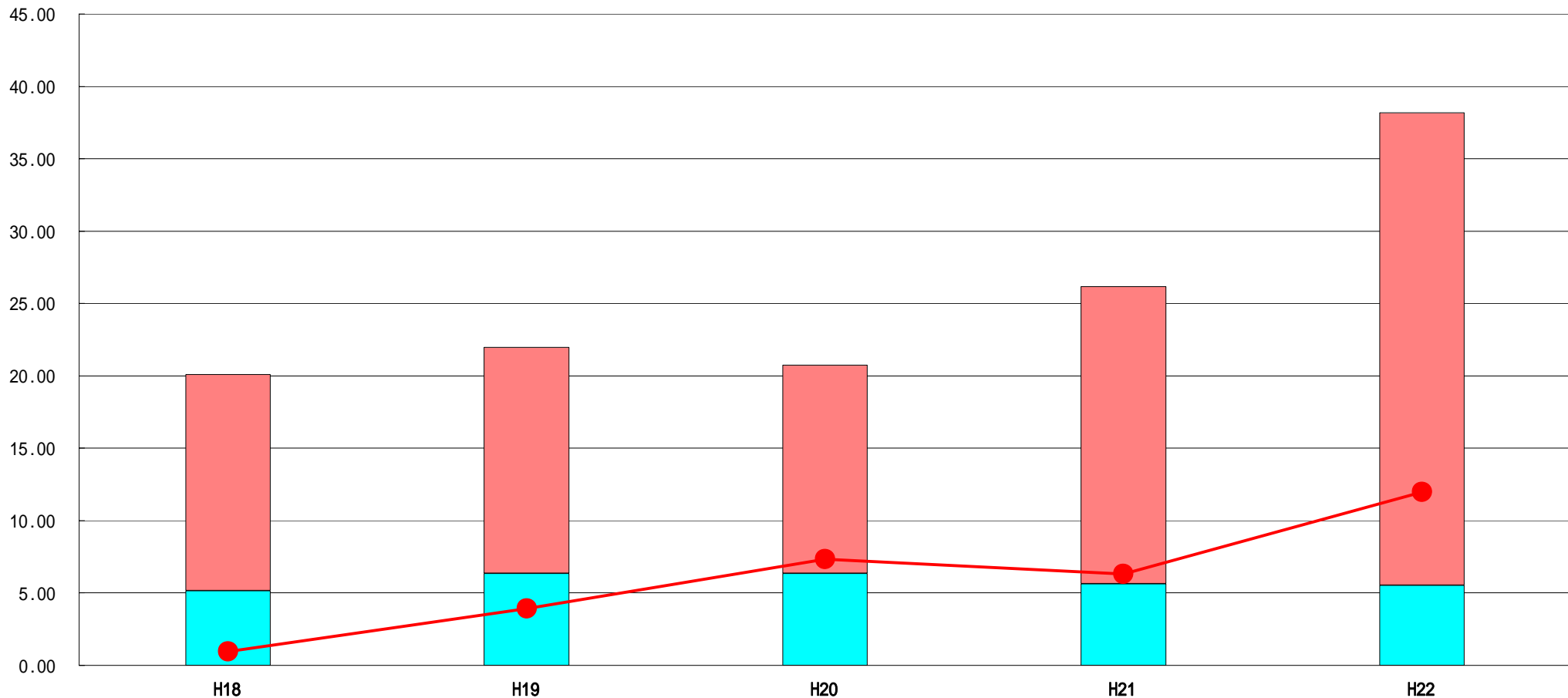
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	61,259	89,823	2.6	155,309	9.7	12.3
うち単独分	61,259	89,823	2.6	69,293	10.3	12.9
H19	137,732	208,685	132.3	161,387	3.9	128.4
うち単独分	137,732	208,685	132.3	66,794	3.6	135.9
H20	161,386	247,145	18.4	176,539	9.4	9.0
うち単独分	161,386	247,145	18.4	75,430	12.9	5.5
H21	517,767	836,457	238.4	262,834	48.9	189.5
うち単独分	329,469	532,260	115.4	147,509	95.6	19.8
H22	244,951	404,210	51.7	334,234	27.2	78.9
うち単独分	230,352	380,119	28.6	135,366	8.2	20.4
過去5年間平均	224,619	357,264	69.0	218,061	15.9	52.1
うち単独分	184,040	291,606	48.0	98,878	17.3	30.7

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)




平成22年度

長野県売木村

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		14.96	15.64	14.41	20.54	32.65
 実質収支額		5.15	6.34	6.34	5.64	5.54
 実質単年度収支		0.94	3.91	7.32	6.32	11.98

分析欄

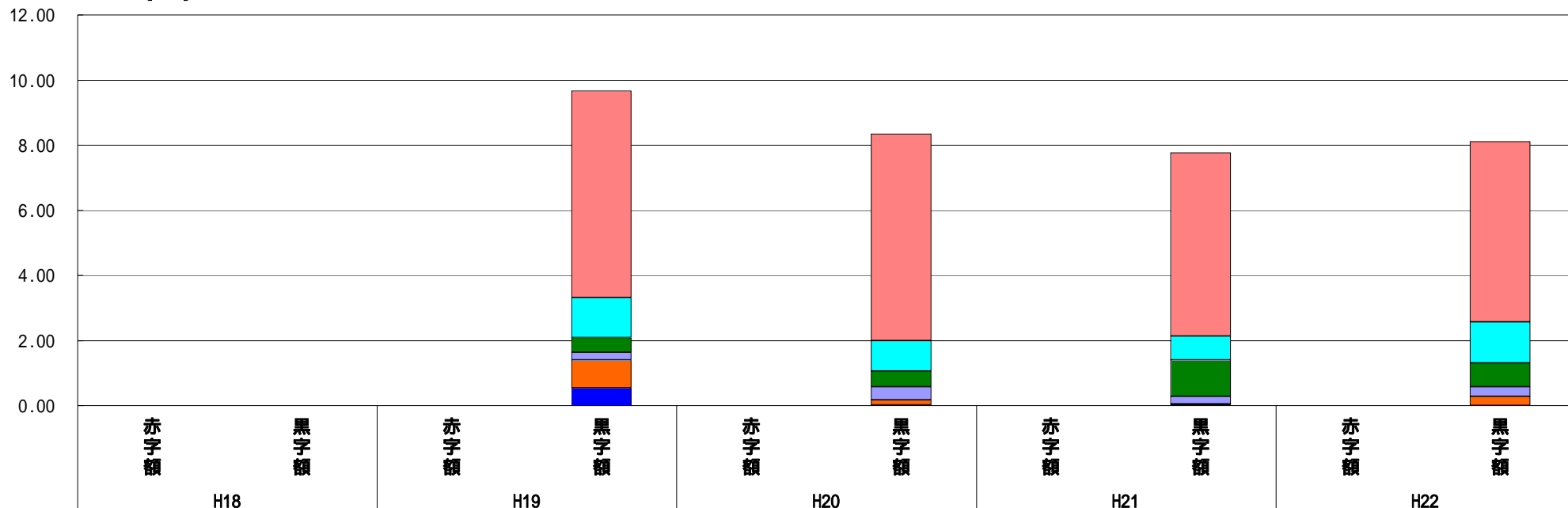
・標準財政規模に対する財政調整基金残高比が大幅に伸びている。これは将来の行財政運営に充当できる財源を極力確保する為に計画的に積み立てている結果である。今後も更に経常経費の削減に努め、基金保有額が確保できるよう努めていく必要がある。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成22年度

長野県売木村

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		-	6.34	6.34	5.64	5.54
国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業)		-	1.23	0.94	0.73	1.26
介護保険特別会計 (保険事業勘定)		-	0.46	0.49	1.12	0.73
国民健康保険特別会計 (診療施設事業)		-	0.23	0.40	0.24	0.30
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)		-	0.86	0.15	0.03	0.28
下水道事業特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.01	0.01	0.00
簡易水道特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	0.54	0.01	0.00	0.00

分析欄

・一般会計を含め全ての会計において黒字となった。今後も維持できるように努める。

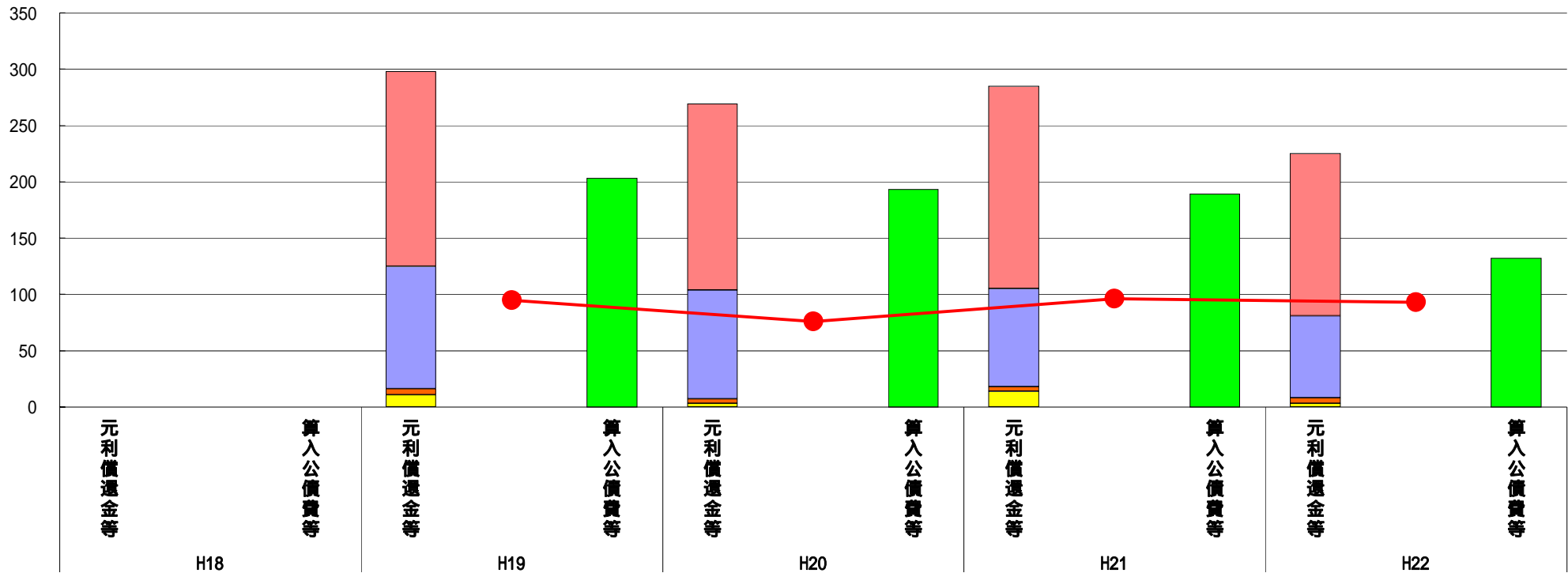
平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

長野県売木村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	173	165	180	144	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	109	97	87	73	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	5	4	4	5	
	債務負担行為に基づく支出額	-	11	3	14	3	
	一時借入金利息	-	-	-	-	-	
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	203	193	189	132	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	95	76	96	93	

分析欄

・起債の償還もピークを過ぎ、元利償還金の額も年々減少している。また、簡易水道及び下水道事業で借入した償還もピークを過ぎ減少している。今後も償還額が過大とならないよう努める必要がある。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

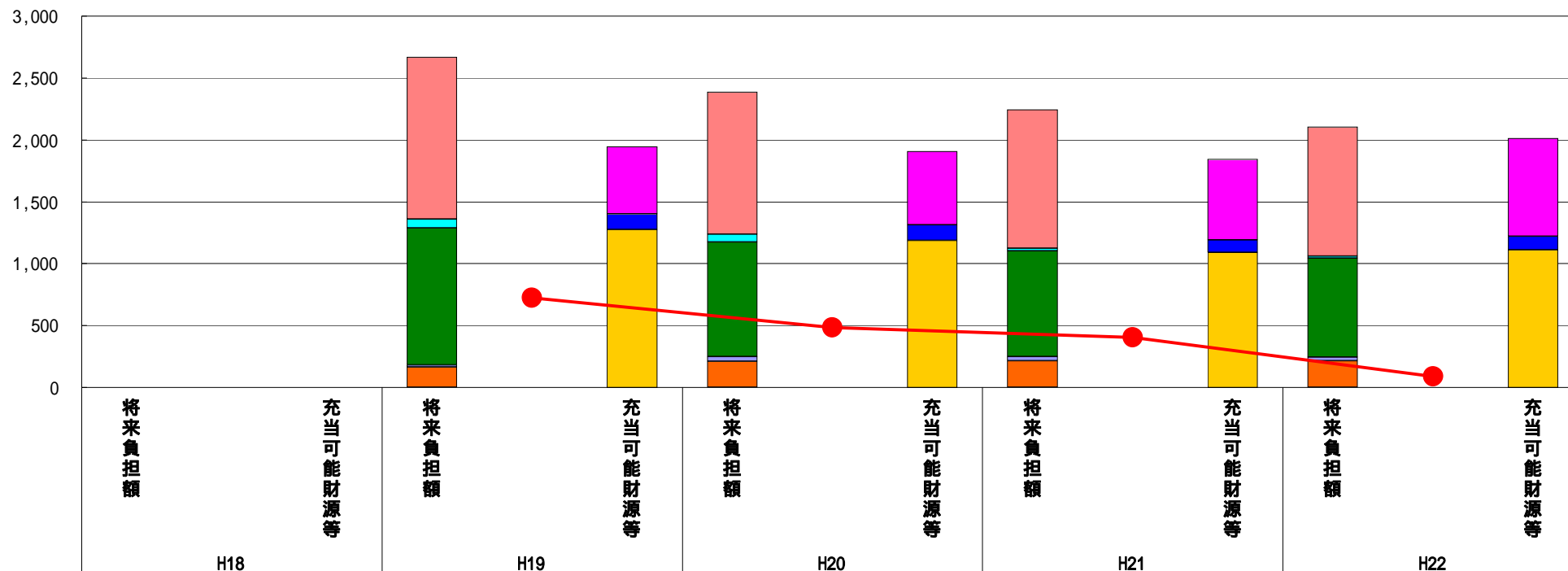
平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

長野県売木村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	1,311	1,149	1,121	1,040	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	71	60	21	18	
	公営企業債等繰入見込額	-	1,105	929	855	800	
	組合等負担等見込額	-	19	38	33	29	
	退職手当負担見込額	-	163	209	214	215	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	544	591	652	794	
	充当可能特定歳入	-	125	126	99	108	
	基準財政需要額算入見込額	-	1,275	1,187	1,090	1,111	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	725	482	402	88	

分析欄

・主要因として地方債の現在高が10億4千万円、公営企業債等の繰入見込額が8億円と多く、これに見合う充当可能財源が乏しい状況である。しかしながら、年次計画により高利率等不利な起債の繰上償還を実施するとともに財政調整基金、減債基金への積立を積極的に行なうことにより昨年より将来負担比率もかなり改善されている。今後も更に公債費等義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め、財政健全化に努める。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。